



編集兼発行所
愛媛県東温市志津川
東温高等学校報道部

印刷所
太陽印刷株式会社
松山市福音寺町 514-1

何もない？自分の良さに気付く時

『東温ラブストーリー』に想う

校長 小田原 寛

今年の一月中旬、東温市が、県内外の若い世代の人たちに東温の認知度を高めようと、『東温ラブストーリー』という動画を制作・発表しました。東温市出身の映画監督、渡部亮平さんが監修しガールズバンドの清原梨央さんが主演。「何もない」と思っていた東温に、魅力や住みやすさを再発見する様子が軽快な音楽と振付で表現され、最後にラブストーリーの始まりを予感させるという内容です。

そこに住む人にとって、地元の良さは案外気付かないもので、今、愛媛県にも県外からの移住者が少しずつ増えているようですが、外からの目線で見ると、地元にはこんないいところもあったのかと気付かされることあります。

ちょうど時を同じくして一月十九日、NHKの「ひめぼん」というローカル番組で、東温高校を詳しく紹介していただきました

た。リポーターの井本さんが取材に来られた際、「紹介したいことがたくさんある学校ですね」と私に話してくれて、社交辞令とは思いつつながら放送に期待していました。放送では、本校の魅力として、美術部の絵馬送りの行事やソフトボール部の活動、スポーツ健康類型・生活文化類型などの特色ある教育、そして何人かがそれぞれの夢を語る様子が紹介され、東温高校の良さをコンパクトに伝えていただきました。

私は、この東温高校新聞にもたくさんさんの記事があるとおり、皆さんの頑張りが活躍は、本当に素晴らしいといつも思っています。放送で、皆さんの明るく真面目に活動する様子を見た時、「いいところ、たくさんあるなあ」と本校の良さを改めて実感しました。

東温市と東温高校について、全く同じタイミングで魅力を再発見できる発信が行われたことは全く

の偶然ですが、私には、何かいい予感を感じさせる貴重な出来事でした。本当に、いいところが「何もない」のであれば、発信もできません。「何もない」のではなく、実は、たくさんの魅力がある。同じように、皆さん、一人一人にも、いいところがある。今、は、はつきりしなくても必ず芽が出て花開く時が来る。そう思っています。

ただ、人間にはネガティブな面があって、自分のことを、「何もないところなんか」と思うこともあります。特に、経験が浅く、成長過程である若い人には、そう思うことが多いのではないのでしょうか。しかしそれは、いいところがないのではなく、自分で気が付いていないだけ、或いは、まだ芽が出ていないだけなのです。将来について悩んだり、たくさんの人と関わったりして、一生懸命生きる中で、自分の良さに気付く時が必ず来ると

信が行われたことは全く

自己否定的で、自分にはいいところは「何もない」、学校もつまらない、住む街にも何もない、そう思っている人に素敵な出会いが訪れるのでしょうか。そうではなく、住む街や学校のいいところを感じながら楽しく生きる、小さな経験から自信を積み重ね、ポジティブになる。自分の良さに気付く時、その時こそ、いい出会い、ラブストーリーが始まるのです。皆さん、自分の人生においては、あなた自身が主人公です。自己肯定感を高め、ラブストーリーも含め、自分自身の人生のストーリーを前向きに描いていこうではありませんか。



令和4年度 主な行事

- 4月8日 一学期始業式、入学式
- 11日～ 集団研修(1年)
- 5月10日 皿ヶ嶺登山
- 17日～ 一学期中間考査
- 26日 生徒総会・家庭クラブ総会、グループ結団式
- 6月3日～ 愛媛県高等学校総合体育大会
- 22日～ 一学期期末考査
- 29日～ 修学旅行(3年)
- 7月5・6日 グループマッチ
- 20日 一学期終業式
- 25・26日 中学生高校見学会
- 8月26日 二学期始業式
- 9月7日 体育祭
- 10月4日～ 二学期中間考査
- 13日 坊っちゃん劇場観劇(1年)
- 26日 文化祭
- 11月8日～ 販売実習(2年商業科)
- 17日～ 愛媛県高等学校総合文化祭
- 22日～ 二学期期末考査
- 30日 クラスマッチ(1年)
- 12月1日 クラスマッチ(2年)
- 4日～ 修学旅行(2年)
- 9日 クラスマッチ(2年)
- 20日 二学期終業式
- 1月10日 三学期始業式
- 25日～ 学年末考査(3年)
- 2月2日 マラソン大会(1・2年)
- 12日 東温フェスティバル
- 20日～ 学年末考査(1・2年)
- 28日 同窓会入会式
- 3月1日 卒業証書授与式
- 20日 三学期終業式
- 29日 離任式





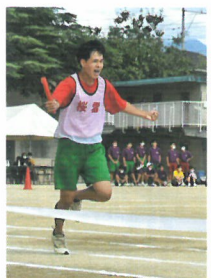
グループ長からのメッセージ

紫雲グループ 大森かのん
私は、体育祭でグループ長を務めさせていただきます、皆さんのことを学びました。私自身大きな行事で大役を任ざられたことがなく、不安ばかりでしたが、紫雲グループのみんなの助けによって体育祭を終えることができました。応援、ダンス、装飾ではみんなの意見が食い違い、バラバラになっていた時もありませんでした。最後にはそれぞれで体と心をつなぐパフォーマンスができたと思います。グループ長をした経験は今までもないくらい私の大きな自信となりました。紫雲グループの仲間、先生方、家族、紫雲グループ以外の人たちに、私に伝わってくれた皆さんの人たちがとても感謝しています。私一人では笑顔で終えることは出来なかったと思います。皆さんの思いが伝わりました。



桜雲グループ 平木 遥

私はグループ長をすることで、人間として大きく成長できたと感じています。大変なことたくさんありましたがそれ以上に楽しかったことが多く、やりがいを感じることができました。グループ長になってからは先生方やみんなに助けを借りることもありました。グループ長をやりとげることができました。正直最初は他のグループと比べて、元気が感じることができなかった、行事に対する熱い想いを全員が持ててくれた、そんな桜雲グループでいられたことに感謝しています。それぞれの長、三年生、一二年生のみんな本当にありがとう。



青雲グループ 河崎 僚馬

私は、グループ長を務め、大きく成長することができました。いつもは、リーダーシップを発揮するタイプではありませんでした。自分がグループ長をやっても大丈夫なのかという不安な気持ちでいっぱいでした。実際にやってみて先生方や周りの人へのサポートも自分なりに手を出せることもありました。グループ長をやりとげたこと、自分も成長したのだと思います。最後まで続けられたのはみんなのおかげです。グループ長を通して成長したことを知識を今後に生かしていきたいと考えています。体育祭を無事迎えることができたのはみなさんのおかげであり、感謝しています。支えてくれた皆様、本当にありがとうございました。



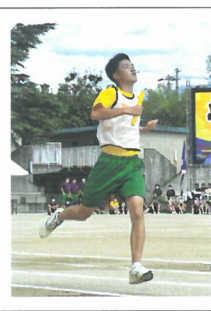
総合優勝 桜雲グループ 谷河 菜結

私は、桜雲グループの副グループ長という立場で総合優勝をさせていただき、今年度の体育祭は、去年と同様マスクを保護者の活動し、三年生の保護者のみの観覧で開催しました。新型コロナウイルスの影響で思うように準備ができませんでした。三年生を中心に、みんなで協力して練習しました。自分自身も責任の重さややりがいを感じることができました。沢山の先生方や周りの人達に支えられた。最高の体育祭になりました。桜雲グループの副グループ長ができてよかったと思います。本当にありがとうございました。



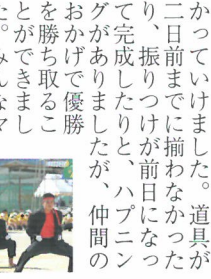
彩雲グループ 松尾 恒政

今年度、私はグループ長という大役を務めさせていただきます。初めは自分のできるのか、そもそもやりたい気持ちは本物ののか、とても悩みましたが、今はやってみようと思うようになりました。グループ長を務めていく中で、自分がどう振る舞えば良いかわからなくなり、一人で解決できない場面が多々ありました。周りの仲間が手を貸してくれ、何度も救われました。私も、体育祭を通して挑戦することや仲間と協力することの大切さを学びました。彩雲グループの皆さん、本当にありがとうございました。



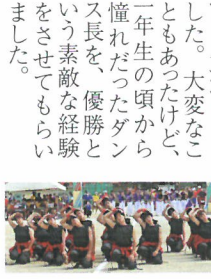
応援部門優勝 桜雲グループ 在間 蓮

僕達桜雲グループは、どのグループよりもコロナウイルスの影響を受けていたと思います。多くのメンバーが自宅待機となり、本番二日前に一度も練習したことがない子が復帰したということもありました。僕も濃厚接触者になりました。一週間ほどグループに迷惑をかけてしまいました。練習できていたので、「俺いらいまね」と正直思っていました。しかし、復帰しても、リハーサルで失敗したり、指示が下手だったとしても、みんながサポートのおかげで、とてもスムーズにこなすことができました。みんなマジで助かりました。ありがとう。



ダンス部門優勝 桜雲グループ 大北 優名

私は、他のチームではなかなかダンスをしようとすることができませんでした。振り付け、曲編集、衣装、動線などを考えながら練習しました。夏期補習と並行しながら、コロナ禍ながらもやりがいを感じることができました。全員が自主的に練習し、修正スピードも早く、難しい要求にも必死に挑戦してくれました。周りからも期待されるのと同時に他のチームも完成度を上げてきていて不安になることもありましたが、私達は勝っていました。励まし合い、本番は最高のパフォーマンスができました。大変なこともあったけど、一年生の頃から憧れたダンスを優勝という素敵な経験をさせてもらいました。



競技部門優勝 彩雲グループ 渡部 旭

私は副グループ長として活動し、競技部門で優勝することができました。この結果はグループ全員で団結して全力で競技に取り組んだ結果だと思っています。今年は、新型コロナウイルスの影響もあり、人と人の間隔を保つため、競技や競技後の制限も厳しくなりました。しかし、その点にも注意しながら、楽しみ、高い意識で競技に取り組む、協力したことに感謝しています。競技部門の優勝につながったのだと思います。彩雲グループ全員の力で、最高の体育祭にすることができました。私達には、より一層盛り上げて思い出に残る体育祭にしたいと思います。本当にありがとうございました。



装飾部門優勝 桜雲グループ 井上 菜夏美

私はグループTシャツ、装飾のデザインを考え、装飾長としてパネル製作の指揮をとりました。始めはうまくいかないことばかりで不安でしたが、装飾以外のメンバーが手伝ってくれたり他グループとも助け合いながら作業を進めることができました。完成させることができました。当日の朝各グループのパネルが並んでいるのを見たとき、とても感動しました。そして各グループの素敵なパネルの中から優勝することができました。本当にありがとうございました。



